

# 平成30年度 認定看護管理者教育課程サードレベル

## 【教育目的】

社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護の理念の具現化に必要な組織化や運営に関する能力を拡大するとともに、経営管理に関する知識・技術を習得し、高い管理実践力を発揮できる人材を育成する。

## 【教育目標】

- 1 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために看護の理念を掲げ、それを具現化するために必要な組織を構築し、運営していくことのできる能力を高める。
- 2 看護事業を起業し運営するにあたって必要となる経営管理能力に関する知識・技術・態度を習得する。

## 【教育内容】

(多少変更することがあります。)

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
基礎	ヒューマンサービス論 (必修)	14	ヒューマンサービスの理念 専門職連携の理念と実践 看護管理とコーチング	1. トップマネージャーとして、組織力向上を目指す人材活用のため「相手の持っている能力を引き出す」コーチングの概念やスキルを学ぶ。 2. 専門職連携の必要性を理解し、連携を推進する仕組みづくりを考えることができる。
	保健医療福祉政策論 (必修)	40	社会保障の概念 諸外国の保健医療福祉 保健医療福祉政策 看護制度・政策 制度・政策に影響を及ぼす看護管理者 政策提言(演習)	1. 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理上に与える影響を考え行動できる。 2. 看護現場の現状を分析・データ化し、職能団体、行政機関等へ提示できる。
専門	保健医療福祉組織論 (必修)	40	保健医療福祉サービスのマーケティング 組織デザイン論 ヘルスケアサービスの創造	社会が求めるヘルスケアサービスをアセスメントし、目的の達成を目指した看護の組織化を図るための諸理論を理解できる。
	経営者理論 (必修)	80	医療福祉と経済論 医療福祉経営 財務管理 経営分析 ヘルスケアサービスの経営と質管理・経済性 看護経営の今後のあり方 労務管理 危機管理 人材フローのマネジメント	経営者あるいはその一員として、経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。
	看護経営者論 (必修)	60	経営者論 管理者の倫理的意思決定 看護事業の開発と起業 実習	トップマネージャーが備えるべき要件について理解し、行動できる。
	統合演習 (必修)	20	自施設の改善計画	教科目で学習した内容を統合、活用し、看護管理の実践の向上をめざす。
	看護研究 (選択)	15	文献検索 研究論文のクリティーク	研究論文を査読し講評できることをめざし、論文を批判的な視点に立って読み取る力を習得する。
設定時間 合計 269 (必修: 254 / 選択: 15)				

※ H31 年度から日本看護協会認定看護管理者カリキュラム基準の改正により、新たな教育がスタートします。